

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会

会 長 山西 健一郎

はじめに、新型コロナウイルスにより罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

第35回テニス日本リーグは、経済を担う企業の対抗戦として経済回復と社会情勢の好転を支援できるように願いを込めての開催となります。大会開催に際しましては、日頃実業団テニスの活動に温かいご理解を頂き、その発展にご尽力頂いている各企業の皆様と、ご声援を頂いている皆様のご支援の賜物と、深い敬意を表すると共に感謝申し上げます。

ワールドツアーも再開され、全米オープンを制した大坂なおみ選手の活躍をはじめ、全仏オープンでの錦織圭選手や日本人選手たちの活躍は、私たちに勇気と希望を与え続けております。日本テニス協会は、2021年に延期となりました東京オリンピック・パラリンピックの成功にむけてさらに努力を続けてまいります。

テニス日本リーグに於いても、四大大会に出場経験のある選手や国内トップクラスの選手による日本最高峰の団体戦として激戦が繰り広げられ日本の頂点が決定いたします。出場を果たされました各企業の監督、選手、関係者の皆様に心よりお祝いを申し上げますと共に選手の皆様には、日頃の練習の成果と団体戦ならではの「チームワーク」を発揮され、悔いのない熱き戦いと、各企業の代表選手として、すべての世代のテニス選手の模範となる「フェアプレー」の精神による感動を期待しております。

最後になりましたが、ご後援を頂いております日本経済新聞社様、並びにご協賛を頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ多くの協賛会社様、また大会開催・運営にご尽力頂いておりますすべての関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会

委員長 矢澤 猛

今年度は世界中に広がったコロナ感染症の驚異により、日本も春には緊急事態宣言発令という今までに経験のしたことのない社会情勢となりました。このような状況下で、JTA 実業団委員会の担当する 2020 年 8 月開催予定であったビジネスバル、10 月に開催予定であった全国実業団対抗テニストーナメントが残念ながら開催中止という事態になりました。国内最高峰の実業団チーム戦でありますテニス日本リーグの開催も危ぶまれましたが、各参加チームの情熱とそのチームが所属する会社役員様方のご理解、更に大会運営関係者のご尽力によって何とか開催する事が出来るようになりました。ここで全ての大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。またテニス界のみならずコロナ感染症拡大により大変ご苦勞されている方々へ、心よりエールをお送りいたします。

安心・安全のためのコロナ感染対策により、例年の大会と比べますと様々な制約やルールの違いがあり、とても戸惑う事も多々あるかと思いますが、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。対策の一つに、無観客対応があります。個人戦とは違う日本リーグでは応援合戦が一つの特徴でもありますので、出来るだけ多くの応援の方々に観戦していただきたく、本大会では全試合ライブでネット配信を行う予定です。離れた場所ではありますが、今まで以上の観戦者がディスプレイを通して応援して下さると思います。そのような状況ですので、選手の皆さんには例年と同じように、いやそれ以上に白熱した試合を披露していただき、素晴らしい大会に盛り上げていただきたいと思ひます。

ご存知のように 2020 東京オリンピック・パラリンピックが延期となり、他のスポーツイベントも軒並み中止となってしまった現状ですが、今年後半からは少しずつではありますがスポーツイベントも再開し始めました。スポーツは実戦でも観戦でも、より明るい活気ある社会を取り戻すことが出来ると思ひじておりますので、各チームの皆さんも是非優勝目指して頑張ってください、各所属会社の活性化に貢献していただきたいと思ひます。

最後になりましたが、長年に亘ってご後援を賜っております日本経済新聞社様、ご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、主管いただきます各地域協会、都県協会の皆さま、並びに関係者の皆さまにお礼を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。